

生活音減衰金具を開発

宇都宮工業、集合住宅向け

【名古屋】宇都宮工業（愛知県豊川市、土井昌司社長）は、マンションやアパートなど集合住宅の生活音を減衰する金具「ユニット写真」を開発した。大手住宅メーカーへの採用が決まり、2022年初旬から供給を始める。住宅の生活音減

衰には防振ゴムを使うのが主流で、金属製は業界初という。初年度に2億5000万円、3年後に9億円の売り上げを見込む。集合住宅で最もクレームが多いのが足音やテレビなどの生活音トラブルとされる。これを減衰するために防振

ゴムが使われているが、可燃性や経年劣化、圧縮に弱いなどの課題があった。

開発品はS字状に曲げた鋼製のバネ板と重りを組み合わせた構造。金属製のため非可燃性で、経年劣化しにくい。鋼板バネを重なるバネ乗数と重りの



重量から減衰させたい周波数を計算できるため、振動を共振により正確にキャンセルする製品を短期間で完成できる。

同社と住宅メーカーの共同試験では、床衝撃音の防音性能値（L値）で、基準となる性能を2ランク向上させるめどを付けた。同技術は特許出願中。設置コストも「1平方メートルの単価は、防振ゴムと比べ半分以下にできる」（土井社長）としている。

同社と住宅メーカーの共同試験では、床衝撃音の防音性能値（L値）で、基準となる性能を2ランク向上させるめどを付けた。